

「議案第38号 生駒市水道事業会計補正予算（第1回）」案の概要

生駒の水PR事業

1. 現状・課題

- ・近年、配水量が減少傾向にあり、一因としてペットボトル水の普及等による水道水離れが指摘されており、歯止めをかけることが課題となっている。
- ・水道事業の社会的責務として、地球環境に配慮した事業運営を行っているが、再生可能エネルギーの利用に続く、新たな施策の創出が課題となっている。

2. 目的・意図

- ・集客力の高い公共施設に水飲み場を整備し、冷水を提供することで、生駒の水本来のおいしさを実感してもらい、水道水の需要を喚起する。
- ・水道水の需要の喚起は、製造、輸送、販売、処理・リサイクルといったライフサイクルの中で多くの資源やエネルギーを必要とするペットボトル等の容器入り飲料の利用削減につながり、最終的にCO₂、ごみ、リサイクルにかかる社会的なコストの削減に寄与する。

3. 事業の概要

(1) ハード事業

集客力の高い公共施設における水飲み場の整備事業として、冷水機能付給水機（飲用・ボトル給水兼用タイプ）の設置を行う。

▶ 給水機の特徴

- ・冷水機能：冷やすことで塩素の味や臭いを感じにくくなり、長時間、おいしく飲用が可能
- ・兼用タイプ：その場でおいしさを知っていただくだけでなく、マイボトル等に給水し、手軽に水道水を持ち歩いてもらうことが可能
- ・バリアフリー：一般的な床置き式ウォータークーラーではなく、車椅子の方、子供等多様なニーズに応えることが可能



(2) ソフト事業

- ① 市主催のイベント（どんどこまつり）にPRブースを設置し、利き水コンテスト※等を実施する。

※例えば、海外産ミネラルウォーター、国内産ミネラルウォーター、生駒の水（水道水）を冷やして、来場者に味の飲み比べをしてもらう等のイベント

② 市や自治会主催のイベント等に貯水式卓上型給水機の貸し出しを行う。

③ 広報紙「生水だより」やホームページで生駒の水本来のおいしさを感じてもらえる方法の特集する。



貸出用給水機
(タンク容量 18L)

4. 各年度の概要

年度	H25		H26～
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 給水機設置 ① 生駒駅前※ ② 北コミ (工事費用含む。) 貸出用給水機購入 (3台) 	<p>290 万円</p> <p>60 万円</p> <p>30 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況、市民ニーズ等を分析し、集客力の高い公共施設の管理者と協議の上、計画的に水飲み場の整備を行う。 関係機関との協力の下、給水スポット (マイボトルを持参すれば給水してもらえる市内の飲食店等) の整備・拡充を行う。
事業費	約 380 万円		

※設置場所 (予定) : バルテラスいこま 3 階 (仮称) にぎわい広場



問い合わせ先 上下水道部総務課
課長 田島 TEL79-2800